

## 企業活動 公正な取引に向けて

お取引先様を含めたバリューチェーン全体で、公正な取引の実現を目指しています。

### ■ 基本的な考え方

日本光電では、健全・公正な購買活動を行うとともに、お取引先様を含めたバリューチェーン全体での公正な取引の実現を目指しています。公正な取引の実現に向けて、社内教育の実施、お取引先様との関係強化などに取り組んでいます。

### ■ 調達方針・基準

日本光電の調達に関する姿勢を広く社内外に周知し、浸透させることを目的に、「日本光電調達方針」「日本光電CSR調達基準」を2013年に策定しました。「日本光電調達方針」は、日本光電の調達に関する基本方針を示しています。また、「日本光電CSR調達基準」は、日本光電がお取引先様に期待するCSRに関する遵守事項を示しています。

「日本光電調達方針」「日本光電CSR調達基準」の詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



<https://www.nihonkohden.co.jp/information/supplier.html>

### ■ 「日本光電CSR調達基準」遵守に向けて

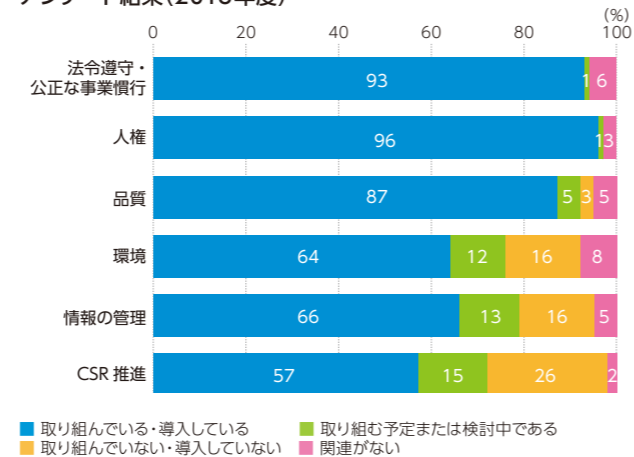
日本光電グループでは、従業員一人ひとりが健全かつ公正な取引に関する正しい理解と意識を持続するため、全従業員に対して定期的なコンプライアンス教育を実施しています。特に、調達に関連する部門では、公正競争規約や下請法など、それぞれの機能に対応した諸法令などの研修を毎年実施しており、2018年度は54名が受講しました。

また、お取引先様とも相互にコミュニケーションを図りながら、「日本光電CSR調達基準」への理解と対応をお願いします。環境や品質への取り組みについて自己評価をお願いするとともに、3年ごとに実施している「CSRへの取り組みアンケート」に回答していただくことで、日本光電のCSR調達基準に関する認識と遵守状況を確認しています。また、アンケートを通していただいたご意見は、調達部門へフィードバックし、公正で責任ある調達の実現に向けて活用しています。

### ● 「CSRへの取り組みアンケート(2018年度)」の結果

2018年度は、99社のお取引先様に依頼し、その全てのお取引先様にご協力をいただきました。調査は、6項目「法令遵守・公正な事業慣行」「人権」「品質」「環境」「情報の管理」「CSR推進」の20問で構成され、特に「CSR推進」では、経営理念・企業の行動指針などの策定に関する質問に対して、90%以上のお取引先様から「策定している」あるいは「策定の予定がある・検討中である」とご回答いただきました。今後もお取引先様と一体となり、CSR調達基準の相互認識を深め、公正な取引を実施していきます。

#### アンケート結果(2018年度)



### ■ 品質維持と向上への取り組み

お客様のご要望にお応えできるよう、調達する部品・材料の品質維持・向上に取り組んでいます。新規のお取引先様については、品質マネジメントシステムの適切な運用を確認するための監査にご協力をいただいています。既存のお取引先様については、定期的な運用調査にご協力をいただくとともに、納入部品の品質に応じて品質監査を行っています。納入部品の品質が最終製品の品質に大きな影響を与えることをお取引先様にもご理解いただくことを通じて、さらなる品質向上に努めています。

## 企業活動 日本光電の地域貢献

地域社会の一員として、文化や習慣を尊重した積極的な地域貢献を通じて、良き企業市民を目指しています。

### ■ 地域社会貢献

#### ● 「inochi学生フォーラム2019 KANTO」のキックオフイベントに協力

命の大切さと未来について考え行動する学生の自主プロジェクトである「inochi学生フォーラム2019 KANTO」のキックオフイベントが、2019年6月に当社の人財開発センターで開催されました。

2019年度のプロジェクトテーマは「私たちが減らす、心臓突然死。」であり、当日は、高校生・大学生7名の方が参加され、モデル手術室の見学、AEDの変遷や当社の取り組みのご紹介、道路や駅、空港などでの救助を想定した大型スクリーンによる臨場感あるAEDのバーチャル講習体験などを行いました。学生の方からは「貴重な体験で非常に勉強になった」「心臓突然死を減らすための解決策を考えていきたい」などの感想をいただきました。

日本光電は、国内唯一のAEDメーカーとして、今後もAEDの普及に努めるとともに、心肺蘇生の啓発活動を推進し、救命率の向上を目指していきます。



AEDのバーチャル講習体験

#### ● 富岡生産センターが緑化優良工場として受賞

2018年10月に開催された「第37回 工場緑化推進全国大会」で、群馬県富岡市にある日本光電富岡の富岡生産センターが緑化優良工場として「日本緑化センター会長奨励賞」を受賞しました。この大会は、経済産業省などの後援により一般財団法人日本緑化センターが主催しているもので、工場緑化の取り組みなどが優れている全国の工場を表彰の対象としています。

富岡生産センターは、「緑地などの多くが敷地境界沿いに配置されていること」「3方向のコの字型210本のソメイヨシノなど、緑地などの景観が素晴らしいこと」「地域住民とのコミュニケーションを大切にしていること」などが評価されての受賞となりました。

日本光電富岡では、今後も緑地の管理および環境活動を推進し、地域に根差した事業所を目指して地域社会への貢献に取り組んでいきます。



富岡生産センター

授賞式

### ■ Topics



脳波計一式を寄贈

#### インドネシア アヌタプラ病院に脳波計一式を寄贈

2018年9月に発生したインドネシア・スラウェシ島での大地震と津波の影響により、震源地に近いパル市では、病院など多くの建物が倒壊し、大規模な被害を受けました。

その後、2018年10月に日本で開催された「日本てんかん学会学術集会」において、スラウェシ島でてんかん診療の拠点病院として患者さんの治療にあっていたアヌタプラ病院の現地ドクターから、同地域でのてんかん診療ができなくなっている状況が報告されました。日本光電は、スラウェシ島での一日も早いてんかん診療の再開を支援するため、アヌタプラ病院に当社のビデオカメラ付きペーパレス脳波計一式を寄贈しました。